

松江ウインター スクールで 松江市児童が 大口町に来町

12月6日(土)
7日(日)



大口町と姉妹都市提携を結ぶ松江市との交流イベント「松江ウインタースクール」は、次世代へつながる友好関係を築くことを目的としています。

12月6日 (土)



松江市から小学生児童15名が大口町に来町。令和7年8月に開催された「松江サマースクール」で松江市を訪れた大口町内の小学生たちと再会しました。

午前は、歴史民俗資料館を見学した後、五条川の桜の間伐材を使ったストラップづくりを通して、児童同士の交流をおこないました。児童たちの笑顔があふれる、温かな時間と

なりました。



午後は、堀尾氏ゆかりの堀尾跡公園を地元ガイドの説明を聞きながら散策しました。歴史に触れることで、児童たちは大口町の文化や伝統への理解を深めることができました。その後、町内にある株式会社青山製



昼食会では、名古屋名物のどて煮やエビフライなどが入ったお弁当に加え、大口町職員有志が地元の野菜を使って仕上げた赤みその味噌汁やみそ田楽を提供し、参加者の皆さんをおもてなししました。児童たちは「どれも美味しい!」と感激しながら、地元の味を堪能しました。

作所の工場見学を実施。工場内・事務所内の見学を通じて、最先端のものづくり技術に触れる貴重な体験となりました。

12月7日 (日)



この日は、松江市児童が国宝犬山城や名古屋港水族館を訪問しました。犬山城では、城の歴史や建築の魅力について学び、名古屋港水族館では海洋生物との触れ合いを楽しみました。今回の「松江ウインタースクール」は、児童たちが互いの文化や生活への理解を深め、友情を育む貴重な機会となりました。この経験が、将来の姉妹都市交流へつながることを願っています。